



第32回 日本母乳哺育学会 教育委員会主催勉強会

日 時：2025年2月11日（火・祝）10時00分～15時00分

会 場：オンライン開催

（オンデマンド配信もおこないますが単位申請に関してはライブ配信のみとさせていただきます）

※勉強会参加申し込み方法：下記URLまたは右記QRコードよりお申し込みください。

<https://peatix.com/event/4261378>

勉強会参加費：会員 2000円 非会員 6000円

なお、事前に日本母乳哺育学会に入会いただけますと勉強会に会員参加費で
ご参加いただけます。ぜひ事前の学会への入会をお願いいたします。

『学会入会申し込み』の問い合わせ先：日本母乳哺育学会事務局

bonyuhoiku-gakkai@umin.ac.jp



テーマ：「母乳がさらによりよい栄養になるために 必要なこと、混合栄養を見直すためには？」

母乳栄養の児にビタミンK欠乏による健康リスクがあることは周知の事実です。だからと言って混合栄養を推進するのではなく、ビタミンK補充をしながら母乳栄養を継続することが現在の医療のスタンダードです。それは安易に混合栄養にすることで母乳栄養を継続することが困難になり、それは母子の健康に負の影響を及ぼすことが危惧され足りない栄養素を補充し母乳栄養を継続することが母子の健康にとって有益な選択と考えられているからです。

現在、母乳栄養の児には「鉄欠乏」「ビタミンD不足」が起こりやすいことが知られており「亜鉛欠乏」も危惧されています。そのことを理由に母乳栄養を継続している母親に「混合栄養」を勧める医療関係者が増えています。母乳性黄疸が疑われた場合、人工乳への変更が安易に提案されることも医療の現場では少なくありません。

これらの問題を解決するためのエビデンスは少なく様々な意見が存在し絶対の正解を求めることは現時点の医療レベルでは限界があります。

この勉強会では、それぞれのテーマについて最新の知見を紹介し演者の個人的な見解を含め皆様の今後の診療に役立つ情報提供し、安易に「母乳は最良の栄養」と主張するのではなく、母乳栄養で欠乏しやすい栄養素を理解し、その課題をどう克服するか皆さんで議論するきっかけにしたいと考えています。

プログラム

09:30～：待機室入室開始

09:55～10:00：開会のご挨拶

10:00～10:30：①ビタミンKの補充について（堺 武男 先生）

10:30～11:00：②ビタミンDの補充について（いわき市医療センター 本田義信 先生）

11:00～11:30：③亜鉛の補充について（福島医大 小笠原 啓 先生）

11:30～11:45：休憩（15分）

11:45～12:15：④鉄の補充について（仙台医療センター 千葉 洋夫 先生）

12:15～12:30：⑤黄疸について（いわき市医療センター 本田 義信 先生）

12:30～13:15：昼休憩（45分）

13:15～13:45：⑥母乳を継続するリスクを危惧し、
混合栄養にすることによるリスクの増加について
（東京都立荏原病院 滝 元宏 先生）

13:45～14:45：⑦総合討論（60分）
「混乱している課題について考える」が総合討論の趣旨です。

14:45～15:00：閉会の辞 次回勉強会開催のご案内

本会は日本助産師会継続教育ポイント、日本専門医機構 学術集会参加単位 2単位（日本産婦人科学会）、日本産婦人科医会認定シール、IBLCE継続教育単位(2.75L-CERPs)を発行予定です。